2017 愛顔（えがお）つなぐえひめ国体
第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え
TEAM FUKUOKA NEWS
「チーム福岡」福岡県選手団サポートニューズ
１０月 ６日 Vol.5

第７２回国民体育大会
「Ｔｅａｍ福岡」大躍進！！

大会前半終了！５位でのターンに高まる期待！

ラグビーフットボール競技女子 悲願の初優勝！！

（試合前のアップの様子）

（勝利に喜ぶ選手）

予選リーグを３戦全勝で突破した福岡は、決勝トーナメント１回戦で北海道と対戦した。通常、７人制ラグビーでは、パス回しを主体として、攻撃を仕掛けることがセオリーであるが、北海道は、福岡のスピードを警戒し、身体をぶつけて縦にボールを進める戦略をとってきた。

松尾選手が「一番苦労したのは北海道との戦いでした。」と語るように、普段とは違う戦いを強いられたが、相手の戦略を上回る戦いを見せ、３９対０で勝利を飾った。

続く準決勝は、兵庫との対戦。後半、兵庫の猛反撃にあうも、２９対１２で勝利を収め、初の決勝に進出した。決勝の相手は、優勝候補大本命の埼玉を破った島根。昨年は試合中に負傷者が続出し、本来の力が出せずに悔しい思いをした。スタッフは、悲願の初優勝に向けて幾分緊張のある選手達をリラックスさせるため、「いつもどおりやろう。勝つ力はある。しっかりと福岡の名を刻んで帰ろう。」と声をかけた。

（果敢に攻める選手）

島根とは予選プールで対戦しており、２１対５で勝利している。しかし、対戦相手の島根は、大本命の埼玉を破り、勢いがあるチームであり、油断することなく、予選で対戦した情報をもとにディフェンスにおける綿密な修正を行って、決勝に臨んだ。

前半は、５対０とリードするも、どちらに転んでもおかしくないゲーム展開が続いた。福岡は、作戦どおりの粘り強いディフェンスで相手に得点を許さず、更に後半に２トライを挙げた。一進一退の攻防が続く中、試合終了のホイッスルが鳴り、終わってみれば１９対０の完全勝利で、見事、悲願の初優勝を飾った。

福岡県タレント発掘事業の修了生でもある松尾選手は、試合後、「本国体では、九州よりもレベルの高い選手が多く、対応に苦労した。優勝することで福岡県に貢献できて嬉しい。」と語ってくれた。また、インタビューに答えてくれた松尾選手を筆頭に、ラグビー女子代表には、福岡県タレント発掘事業の修了生が３名出場している。

今後、ラグビー王国福岡として、更に女子チームが活躍することを期待したい。

（賞状を手に笑顔！）

ウエイトリフティング競技　成年男子　奮闘中！！

（競技中の前田選手）

ウエイトリフティング競技成年男子５６kg級に出場した前田選手は、スナッチで８位、クリーン＆ジャークで７位、トータルで７位の成績をおさめた。前田選手は成年種別初挑戦であり、今後の活躍に期待したい。

ボクシング競技　少年男子
川谷選手ベスト８進出！

５日（木）から、松前公園体育館でボクシング競技が始まった。少年男子フライ級・福浦選手、バンタム級・祝選手、ライトウェルター級・豊田選手、バンタム級・川谷選手、女子フライ級・尾畑選手が出場、バンタム級に出場した川谷選手は、昨年度福岡よりも上位成績をおさめた岐阜に対して圧倒的な力の差を見せ勝利し、２回戦へ進出した。２回戦は、九州ブロック大会から気になる存在と語っていた佐賀。試合に入ると序盤から効果的なボディー攻撃で相手のガードを下げさせる作戦で挑み見事に的中、ストレートやアッパーなどで確実にポイントを重ねて勝利し、ベスト８進出を決めた。試合前の相手選手の分析や作戦の重要性をあらためて感じさせる試合であった。この勢いに乗って、上位進出に期待したい。

（試合の様子）

Team 福岡の現在状況と今後の展望

５日(木)終了現在、本県は前日から約１００点を獲得したものの、５位から１つ順位を下げて６位となったが、例年１７００点程度を獲得する大阪、愛知の上位進出は予想されたとおりである。また、福岡に迫る昨年度１８９３点で３位の埼玉をこれまで抑える奮闘を見せている。

８位以内入賞を果たすには、例年競合する北海道や千葉、京都、兵庫を押さえる必要があるが、現在、北海道は、順位は落としているものの、全競技にエントリーできる強みから、着実な得点が予想される。千葉、京都は、着実に順位を上げてきており、特に千葉は、前日の約２３０点差から、約１８０点差と徐々に差を詰めてきている。また、兵庫は、昨年度競技別での優勝を果たしたウエイトリフティングやゴルフでの加点が予測され、来年の本大会開催県である福井県も激しい追い上げを見せており、油断できない状況にある。

これまで、選手は十分に力を発揮し、上位進出を果たしている。現時点では競合県を抑えることに成功しているが、後半から始まる競技は、８位以内入賞のライバルとなる府県を意識し、１つでも上位進出を目指してもらいたい。

男女総合成績（天皇杯）　10月5日終了現在

順位		都道府県名	得点	昨年度順位
１位	⇨	東京	1663.5	１位
２位	⇨	愛媛	1576.5	７位
３位	⇨	神奈川	1235.5	８位
４位	⇧	大阪	1135	６位
５位	⇧	愛知	1099.5	４位
６位	⇩	**福岡**	**1044**	**１３位**
７位	⇨	埼玉	1016.5	３位
８位	⇧	福井	963	１８位
９位	⇩	北海道	910	９位
１０位	⇩	岐阜	892.5	１０位
１１位	⇧	千葉	860.5	５位
１２位	⇨	岩手	860	２位
１３位	⇧	京都	829.5	１２位
１４位	⇨	兵庫	814.5	１１位
１５位	⇩	長野	813	１９位
１６位	⇧	栃木	768	３０位

【各競技入賞者】　（10月5日終了時点）

競技名	種目	名前	所属	順位
ラグビーフットボール	女子(7人制)			優勝
自転車	少年男子個人ロード･レース	兒島　直樹	祐誠高等学校	8位
ウエイトリフティング	成年男子56kg級スナッチ	前田　魁	九州国際大学	8位
ウエイトリフティング	成年男子56kg級クリーン＆ジャーク	前田　魁	九州国際大学	7位
ウエイトリフティング	成年男子56kg級トータル	前田　魁	九州国際大学	7位

国体の情報については、大会ホームページ（http://www.ehimekokutai2017.jp/）より、ご覧ください。

※Facebook においても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター　スポーツ推進課　企画情報係